

「自然づくり・環境づくり・人づくり」サマーチャレンジ2013
川ある～き IN 日川 調査報告
第1部 「川と遊ぶ」

期 日 2013年8月17日(土)
場 所 日川 ぶどう橋上流
気 温 32℃
水 温 22℃
隊 長 田 辺 篤 市長
副隊長 保 坂 一 仁 教育長
特別講師 中 本 賢 氏 (俳優・多摩川クラブ主宰)
講 師 長 田 義 己 氏 (動物生態研究会)
風 間 ふたば 氏 (山梨大学教授)
米 山 由 紀 氏 (山梨大学特任教授)
隊 員 市内の小学生の親子 65名

水質検査結果

- 調査方法 簡易水質キットによる検査
(共立理化学研究所のパックテスト使用)
- 調査項目 水の汚れの指標となるCOD(科学的酸素消費量)と家庭排水や肥料の影響があるかどうか調べるため、アンモニアやリン酸、硝酸性窒素などについて調査しました。
- 調査結果 (風間ふたば教授の講評)
簡易水質キットで計った結果、水質的にはまったく問題なく良好な水質で、特に透視度は1m以上と非常に澄んだ川の水でした。



生態調査結果

調査方法 水生生物個体採捕調査（ガサガサ）
 用具 タモ網 バケツ 好奇心
 捕獲実績 10種類 276匹 （野生児的な実績）

名前	数（匹）	写真	コメント
アマゴ	1		海に行ったらサツキマスになる。海の香りのする魚
カジカ	80		不細工な顔をしているが、きれいな川にしか住めない。ふるさとの溪流を代表する魚
アブラハヤ	60		地区によって名前の違う魚、触ったときにぬるぬるするのでアブラハヤと呼ばれる
カワヨシノボリ	0		貴重な魚でカジカに似ている。今回は取れなくて残念
トビケラ	24		水生昆虫で、成虫になると空で生活する。何かの際には食べると旨い。佃煮がいい。
ヘビトンボ	7		川底は良い環境にしかない。この川みたいにきれいな川にいる。

ナベブタムシ	50		水生昆虫でもっとたくさんいたと思う。 結構みんな捨ててたから。
ヤゴ	13		トンボの幼虫、
ガガンボの幼虫	1		蚊の大きいやつみたいなムシの幼虫、割と知られていないが環境指標となる虫でいることはめちゃくちゃすごい
サワガニ	6		かにの中で海にいかないカニ、メスとオスの見分けが出来る。
ツチガエル (親)	2		水田によくいるカエルで川には少ないと思う。
ツチガエル (オタマジャクシ)	32		そんなカエルの子

調査結果

この川は山の生き物と中流域の生き物が折り重なっている環境だといえます。日本中の川でガサガサをしているろんな生き物を取っているが、川を見るとその地域がわかる。水は生活の基本なのでその地域の特徴がでます。

今までの経験から、この川は最大級にすごい川です。

ここは、外にはない本当に素敵な場所だと思います。

特別講師（中本賢氏）の講評

みんなも、チャンスがあったら続けてください。

四季によっても川に住む生き物も変わります。いろいろ詳しくなると、このまじのことが世界一好きになります。

来年もきっとやります。やってください、そして来年も参加してください。

皆さんは今日始めて、川の楽しさを知ったと思います。でも川のことはまだまだ知らないなので、川に行くときは一人では行かないでください、10cm水位が変わると川はまったく違う顔になります。

また、入るときはライフジャケットを着用すること。



「自然づくり・環境づくり・人づくり」サマーチャレンジ2013
川ある～き IN 日川 調査報告
第2部 「川と学ぶ」

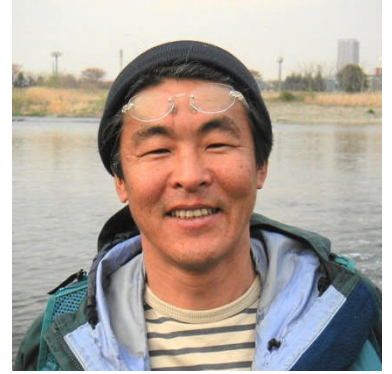
期 日 2013年8月17日(土)
時 間 13:30～
会 場 勝沼市民会館 2階 大会議室
講 師 中本賢氏 (探検隊特別講師)
演 題 「偉大なる近所 川はおもしろい」
内 容 多摩川での活動のきっかけや、これまでの経験を、言葉巧みにお話いただきました。

川をつうじて、身近な自然に親しむことで、その自然が特別であることを知り、そして、その自然を培ってきた、自分まちを大好きになり、自分たちが大きくなって、そのまちを大切にすることを目標としているそうです。

また、川を良く知るにより、より安全に川に親しむことが出来るそうです。

自分のまちの自然に親しみ大切にしていこう。また、保全し次世代に引き継いでいこうと強く感じさせられました。

本当に楽しいお話でした。(担当者感想)



特別講師プロフィール
東京都浅草生まれ。「幸福の黄色いハンカチ」「釣りバカ日誌」など多くの映画やテレビに出演。息子と始めた川遊びの面白さにすっかり夢中になり現在では川崎市教育委員に就任し、地域ぐるみで川を守る取り組みを行い。多くの皆さんに「好奇心」を抱かせる活動など、本来の自然の素晴らしさを呼びかける啓蒙活動を行っている。

